

そらのとり

岩見沢聖十字幼稚園だよりNo. 13

2016年11月28日発行

11月の聖句

「見よ、兄弟が共に座っている。なんという恵み、なんという喜び」

(旧約聖書 詩編133章1節)

幼稚園で過ごす子供たちは、ある意味で、兄弟姉妹とされた関係性をもっています。はじめは、幼い弟であり、妹。それが時を経て、兄となり、姉になります。恵みによる兄弟姉妹たちです。

それぞれの個性は、ときには衝突し、葛藤を経て、和解に至ります。そのプロセスにおいて成長します。そして、違いがあっても、人間には共通していることのほうが、ずっと多いことをも、身をもって学んで行きます。

ある日、障がいのあるお友だちに、いたわりがありながら自然に接している女の子の姿が目にとまりました。神の国を映しだすかのような美しい光景でした。

聖十字幼稚園の子供たちは、違いを乗り越え、受け入れあい、共に生きる姿を見せてくれます。子供たちから大切な事柄を教えられます。

(チャップレン 司祭 池田)

ほかの人とかかわる力

頑張りすぎちゃう子供たち

行事などがあると、不安や緊張で
泣かたり、夜中に泣いてしまったり。
まばたきなどを
瞬き返したり
ヘルペスか
出たり
することがあります。
私たち大人が考えているより
子どもはずっとまじめで
好きなお父さんお母さんや先生を喜ばせたい
思ったり、何より自分がちゃんとできる自分で
いたいと思って、元気張りたい強いきもちが
あるからです。…でも、子どもたちはまだま
人生の入口にきたばかり、何もかもが初めて
だらけ…。

子ども本来の姿、自由遊び

先生たちのパワーアップ